未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
[テーマＢ：リサーチ・マインドを持った総合診療医の養成]

整理番号	Ｂ－１

申請担当大学名（連携大学名）	東北大学
事業名	コンダクター型総合診療医の養成
事業責任者	病院　総合地域医療教育支援部　教授　石井　正

事業の概要

本プログラムは、高度医療の要否を判断し患者をトリアージしうる最新の医学・医療知識を有し、かつ地域包括ケアを統括するためのリーダーシップを発揮し、地域発臨床研究を推進できる「コンダクター型総合診療医」の養成を目的とする。具体的には、東北大学病院と本プログラム参加医療施設である「地域教育拠点」とを ICT で連結し、プログラム受講者である各地域教育拠点の後期研修医・医師に対し、東北大学は専門医療や医療マネージメントに関する専門知識・スキルおよびリソースを提供し、かつ地域発の臨床研究を指導・サポートを行い、地域教育拠点は実践的臨床トレーニングや円滑な医療マネージメント学習のためのオンザジョブトレーニングを提供する。これにより医師は地域にいながらキャリア形成およびスキルアップでき、さらに本学大学院に社会人入学したうえでこのプログラムを選択すれば、学位取得も可能となる。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：改善を要する点等

○総合診療医の位置付けをコンダクターとして明確にしている点は特色がある。
○地域医療従事の重要性を認識しながらもキャリア形成に不安をもつ若手医師のニーズにあったプログラムの構成は評価に値する。
○大学病院と地域病院とが一体で実施する点は優れている。
○地域病院での研修・指導が具体的である。
○コンパクトで、担当者が明確である。
○学位の取得を視野に入れている。
●プログラムを進めるためにシステムの整備は重要と思われるが、地域医療従事者と拠点病院をつなぐＩＣＴの整備に偏りがちな印象がある。
●地域のニーズの観点から、受入対象人数をもう少し増やした方がよいのではないか。